

関税局長からのメッセージ

税関は、令和4年(2022年)に設立150周年を迎えます。明治開国以来長きにわたり、貿易秩序の維持及び日本の経済の発展に大きな役割を果たしてきました。

税関では、安全・安心な社会を実現するため、不正薬物や拳銃等の社会悪物品の密輸取締りを行っています。近年、不正薬物の水際での押収量は年々増加傾向にあり深刻な状況が続いています。今後も大規模な国際イベントを控えており、水際でのテロ対策等にも万全を期し、国民の安全・安心を確保することが求められています。

税関はまた、徴税機関として適正かつ公平に関税等を徴収することや、貿易の円滑化を推進することも重要な使命としています。昨年(令和2年)には日英包括的経済連携協定およびRCEP(地域的な包括的経済連携)協定も締結され、更なる貿易の促進が見込まれることから、通関業務を行う税関に求められる役割はますます重要となっています。

世界の経済や社会活動のグローバル化が進み、平成元年(1989年)から令和元年(2019年)までの30年間で、貿易額は2.3倍、輸出入許可件数は5.6倍、訪日外国人旅客数は11倍となるなど、税関を取り巻く社会環境は大きく変わりました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や電子商取引の拡大に伴い、航空貨物の輸入件数が大幅に増えるなど、物流が我々の生活に直結し、税関も大きく関与しています。

関税局・税関は、財務省で物流に精通する唯一の組織として、今後も変化していく環境に対応しながら責務を果たし、国民の期待に応えていく必要があります。

密輸手段や物流の変化に適応するためには、普段からアンテナを高く保ち世の中の移り変わりをタイムリーに捉えることはもちろんのこと、前例に囚われない柔軟な発想が大切です。現在、税関ではAI(人工知能)等の先端技術を活用し、「世界最先端の税関」の実現を目指していますが、このように税関業務の高度化・効率化を進めていくためには、若く新しい考え方が必要になってきます。

また、税関職員は、関税政策や税関行政の企画立案及び税関の現場での執行のほか、他省庁等や在外公館・国際機関での勤務など、幅広いフィールドで活躍しています。多様な業務において、公への貢献に向けて柔軟な発想でチャレンジし、新しい時代をともに築いていく皆さんをお待ちしています。



関税局長 田島 淳志

JAPAN CUSTOMS

Contents

局長からのメッセージ	1
税関の使命	3
業務紹介	
財務省関税局	6
税関	13
税関総合職のキャリアパス	17
税関総合職の活躍するフィールド	25
税関における先端技術の活用	30
ワークライフバランス・福利厚生	31
1年目職員からのメッセージ	33
人事採用関連情報	34